

清流

題字：芳野 充

平成30年12月30日

第24号

発行所 加来不動産(株)

発行者 加来 寛

北九州市小倉南区守恒本町1-12-23

穏やかに
静かに
清流のように

自己を知り、自己を正す

思いやりを具体的行動にあらわした「日常の心がけ」の二十一番目は、「一日の終わりは静かに反省」です。これが最後の項目になります。何を反省するのか、と言うと、一日のなかで「日常の心がけ」の一番目から二十番目についての行動がとれたか、を反省します。再度、ご紹介させていただきます。

- 一、笑顔であいさつ
- 二、正しくやさしい言葉づかい
- 三、清潔でさわやかな身だしなみ
- 四、腰骨を立てた正しい姿勢
- 五、「はい」という明るい返事
- 六、なごやかな気持で相手に応対
- 七、人の話はいねいに聴く
- 八、身のまわりの整理整頓
- 九、約束、規則は必ず守る
- 十、ものは粗末にせず、大切に扱う
- 十一、水や電気の節約
- 十二、食事のまえは「いただきます」
- 十三、不要なものは捨てない
- 十四、脱いだハキモノはきちんとそろえる
- 十五、グチや悪口はひかえる
- 十六、飲食は美しく、腹七分に
- 十七、ものごとの好ききらいはつつしむ
- 十八、ものごとの処理は機敏に
- 十九、ずるく、いやしい行為はつつしむ
- 二十、早起きの励行
- 二十一、一日の終わりは静かに反省

このことをしっかりと意識し、一日を反省しはじめたのは二〇十四年（平成二十六年）から。自分で表を作成し、一日のわりに一項目ずつ「○」「×」をつけ、わたしの言動をふり返るようになりました。「△」をつけないのは、中途半端な評価をしないためです。いまだにすべてが「○」になる日はありません。それでも「自己を知り、自己を正す」ということをつづけていき、すこしでも魅力ある人を目指したいと思えます。この一年も、みなさまの支えや励ましのお陰で、「清流」を発行することができました。心より感謝いたします。

加来

寛

